

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	22 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	小倉	春日	仲谷	安川	

文化財名	神野山(こうのやま)				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input checked="" type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1958年(昭和33)3月20日				
所在地	山辺郡山添村北野、伏拝神野山				
所有者 管理者	伏拝ほか6大字				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	各所に有り。				
公開	フォレストパーク神野山として遊歩道が整備され見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	観光化が進み特に課題はない。				
今後の課題	遊歩道各所にある木製の行き先案内板の保守点検が必要である。				
その他 (由緒など)	大和高原は一般的に花崗岩質よりなっているが、神野山は角閃斑れい岩よりなり、この岩質が花崗岩より堅いので次第に平原化する際、侵蝕に堪えてこの山が残丘として高く残ったと考えられている。熱帯、温帯、暖帯系に属する珍しい樹木が自生し、また絶滅危惧種であるクロシジミチョウなどが生息しており、貴重な動植物の宝庫となっていることから県の名勝に指定。				
コメント	神野山(標高618.8m)は、県指定名勝となっていて県立月ヶ瀬神野山自然公園に指定されている。鍋倉溪は県指定天然記念物で全長680m平均幅25mに巨石が広がり湧水がある。大小の黒々とした岩石が重なり合い、まるで火山の溶岩の流れを思わせる奇勝である。岩の色が鍋の底を連想させることが名の由来と伝わる。成因は、山が風化していく中で固い岩石が残り、当時の谷底に集まったものと考えられている。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	11月	22日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	小倉	春日	仲谷	安川	

文化財名	神野山(こうのやま)
------	------------

神野山の説明板	神野山山頂より
---------	---------



八畳岩と案内板	鍋倉溪
---------	-----



遊歩道各所にある説明板	遊歩道各所にある案内板
-------------	-------------

